

【様式1】 CAN-DO LIST 2023

学校名:	武岡台	高等学校	大学科:	情報科学
科目名:	論理・表現 I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 □	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	1~3	単元テスト	1学期	ア
	SI2 □	与えられた話題について, 即興で話すことができる。	4~7	ロールプレイ	1学期	ア
	SI3 □	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見を交換したりすることができる。	11	グループワーク	2学期	イ
20			ディスカッション	3学期	イ	
Speaking Presentation	SP1 □	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	8~9	単元テスト	1学期	ア
	SP2 □	事実と意見などを区別して話すことができる。	10	グループワーク	2学期	ア
	SP3 □	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 発表することができる。	12~14	プレゼンテーション	2学期	イ
18~19			3学期		イ	
Writing	W1 □	事実と意見などを区別して書くことができる。	6~9	考查, 単元テスト	1学期	ア
			15		2学期	ア
	W2 □	内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	16	考查	2学期 3学期	イ
W3 □	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 簡潔な文章を〔50語程度で〕書くことができる。	17	考查, エッセイライティング	3学期	イ	

※右のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2023

R4	学校名:	武岡台	高等学校	学校番号:	5
	科目名:	論理・表現 I		大学科:	情報科学

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1~2	SI	ア	単元テスト	SI1□	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話すことができる。
	5	3	SI	ア	単元テスト	SI1□	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話すことができる。
		4~5	SI	ア	ロールプレイ	SI2□	与えられた話題について, 即興で話すことができる。
	6	6~7	SI	ア	ロールプレイ	SI2□	与えられた話題について, 即興で話すことができる。
			W	ア	考査, 単元テスト	W1□	事実と意見などを区別して書くことができる。
	7	8~9	SP	ア	単元テスト	SP1□	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話すことができる。
			W	ア	考査, 単元テスト	W1□	事実と意見などを区別して書くことができる。
2	9	10	SP	ア	グループワーク	SP2□	事実と意見などを区別して話すことができる。
	10						
	10	11	SI	イ	グループワーク	SI3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見を交換したりすることができる。
	11	12~14	SP	イ	プレゼンテーション	SP3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 発表することができる。
	12	15	W	ア	考査, 単元テスト	W1□	事実と意見などを区別して書くことができる。
	12	16	W	イ	考査	W2□	内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。
3	1	17	W	イ	考査, イッセイライティング	W3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 簡潔な文章を【50語程度で】書くことができる。
		2	18~19	SP	イ	プレゼンテーション	SP3□
	3	20	SI	イ	ディスカッション	SI3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見を交換したりすることができる。

論理・表現 I 科目の目標

話すこと [やり取り]	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。</p>
話すこと [発表]	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p>
書くこと	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>

【様式1】 CAN-DO LIST 2023

学校名:	武岡台	高等学校	大学科:	情報科学
科目名:	論理・表現Ⅱ		学年	2

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	これまでに学んだ語句や文法を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して対話のやりとりを続けようとしている。	1-1~6, 11~12	ロール プレイ, グルー プワーク	1 2	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	立場や状況が異なる相手に対して、考えや気持ちなどを詳しく話して伝え合うことができる。	2-1,2 2-10,11	ディベート, ロールプレイ, グループ ワーク	2 3	ア
	SI3 <input type="checkbox"/>	意見や主張、問題の解決策などを、詳しく話して伝え合うことができる。	1-13~ 15	ディバ ート	2	イ
	SI4 <input type="checkbox"/>	聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。	2-89	ロール プレイ, グルー プワーク	3	ア
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話すことができる。	1-10	スピーチ	1	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができる	2-12	プレゼン テーショ ン	3	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	情報や考え、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて書くことができる。	1-78	考査	1	イ
			2-7	エッセイ ライ イティ ング	3	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張、問題の解決策などを論理の展開を工夫して書くことができる。	1-13~ 16	単元テ スト, 考 査	2	イ
	W3 <input type="checkbox"/>	意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して書くことができる。	2-3	単元テ スト	2	イ
2-7			エッセイ ライ イティ ング	3	ア	

※右のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2023

R4	学校名:	武岡台	高等学校	学校番号:	5
	科目名:	論理・表現Ⅱ		大学科:	情報科学

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1-1 2 3	SI	ア	ロールプレイ, グループワーク	SI1□	学校行事や旅行の予定などの日常的话题について、これまでに学んだ語句や文法を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して対話のやりとりを続けようとしている。
	5	4 5 6	SI	ア	グループワーク	SI1□	これまでの経験や継続している活動、思い出などについて、これまでに学んだ語句や文法を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話してやりとりを続けようとしている。
	6	7 8	W	イ	考査	W1□	自分の日常で行っている活動について、情報や考え、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて書くことができる。
	7	10	SP	ア	スピーチ	SP1□	自分の気に入っているものなど、日常的话题について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話すことができる。
2	9	11 12	SI	ア	ロールプレイ, グループワーク	SI1□	将来の仕事や自分の印象に残っている場所について、これまでに学んだ語句や文法を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話してやりとりを続けようとしている。
	10	13 14 15	W	イ	単元テスト	W2□	社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張、問題の解決策などを論理の展開を工夫して書くことができる。
			SI	イ	ディベート	SI3□	社会的な話題について、意見や主張、問題の解決策などを詳しく話して伝え合うことができる。
	11	16	W	イ	考査	W3□	社会的な話題について、意見や主張、問題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して書くことができる。
		2-1 2	SI	ア	ディベート	SI2□	自分の好みなどの日常的话题について、立場や状況が異なる相手と詳しく話して伝え合うことができる。
		3	W	イ	単元テスト	W3□	学校や町への提案など、社会的な話題について、意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して書くことができる。
12	4 5 6	SI	ア	ロールプレイ, グループワーク	SI3□	休暇の計画や悩み事について、意見や主張、問題の解決策などを論理の構成を工夫して話して伝え合うことができる。	
	1	7	W	ア	エッセイライティング	W3□	自分の体験について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して書くことができる。
3		8 9	SI	イ	ロールプレイ, グループワーク	SI4□	イベントなどの日常的话题について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。
	2	10 11	SI	ア	ロールプレイ, グループワーク	SI2□	感謝や謝罪など、立場や状況が異なる相手に対して、考えや気持ちなどを詳しく話して伝え合うことができる。
	3	12	SP	イ	プレゼンテーション	SP2□	事業計画や異文化理解などの社会的な話題について、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができる。

論理・表現Ⅱ 科目の目標

話すこと 〔やり取り〕	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、問題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p>
話すこと 〔発表〕	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
書くこと	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>